



国際文化政策研究教育学会 会員各位へ、「学会通信」第4号をお送りいたします。

大暑を過ぎ猛暑が続いていますが、皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。

まだまだ、コロナは収束する気配がなく、皆様には、引き続き不自由な生活となりますが、お身体ご自愛のうえ、ご活躍ください。

## 今月号のトピックス

### ① 『国際文化政策』第12号の発行について

お手元にお届けするのが遅くなっておりますが、7月末にはお手元に届く予定です。8月上旬に未着の折はお知らせ下さい。

『国際文化政策』(Journal of International Cultural Policy) 第12号(2021年7月)の内容を紹介します。

#### 〈研究論文〉

丹後産地の自立化とデザイン力

越智 和子 1

エシカル消費が拓く社会的責任と持続可能な社会

三輪 昭子 13

地域の歴史・文化を資本とした「西陣・町ミュージアム構想」の提案：  
町づくりと地場産業を考えた工業型産業から文化型産業への産地再生

松下 嵩 28

大分県宇佐八幡神宮の成立とその歴史的経過と意義：

秦氏系八幡文化が、長岡・平安京を創り出し現在までの日本文化を継続させている

近藤 太一 44

#### 〈書評とリプライ〉

書評：十名直喜著『人生のロマンと挑戦：「働・学・研」協同の理念と生き方』

太田 信義 60

太田信義氏の『人生のロマンと挑戦』書評へのリプライ

十名 直喜 66

書評：富澤公子著『長生きがしあわせな島<奄美>』：

奄美・超高齢者層における‘生活の質’を解明する—今後の地域研究の画期をなす業績

池上 惇 71

書評：文化経済学とネオ・ジェントロジー(新老年学)の“響き合い”：

富澤公子著『長生きがしあわせな島<奄美>』(かもがわ出版、2020年)を読んで

綾野 浩司 83

書評：占領期ドイツにおける「国家権力」と「音楽芸術」の交錯：

芝崎祐典著『権力と音楽』(吉田書店、2019年)の書評

綾野 浩司 87

#### 〈講義記録〉

「生活建築学」講座開催の顛末と今後の課題について

廣瀬 滋 91

コメント：住宅投資の重要性について

池上 惇 99

#### 〈講演記録〉

加藤敏一郎先生と「日登教育」

櫻井 重康 101

② 池上先生米寿祝いオンライン祝賀会の開催 日時：8月21日（土）午後

池上先生の米寿祝いにつきましては、コロナ禍であり、オンライン祝賀会（Zoom）として開催いたします。

おって、詳細を学会 HP (<https://www.icp-education.org/>)にてお知らせいたします。

オンライン形式で多くの皆さんに参加していただくにはどうしたらいいか思案中です。

14:00-16:00、を全体セッションとし、多くの皆さんに視聴いただく。無料で、参加自由、URL 公開

全体セッション終了後、グループごとの分散会（市民大学院、ふるさと創生大学、遠野、基礎研、橘、基礎研）に移行、それぞれで旧交を温めていただく、その場に、時間決めて池上先生に訪問をしていただくという構想です。

それぞれの URL、主催者を順次お知らせしていく予定です。

記念出版なども企画中ですが、どのように手渡すか、手探り状態です。いいアイデアをお知らせいただければ幸いです。間もなく、まずはお葉書にて、開催案内をさせていただきます。予定表に入れておいて下さい。

③ 2021 年文化政策セミナーの開催について

2021 春季研究交流集会(3/20-21)の際は、いろいろとご協力いただきありがとうございました。本格的な初の Web(Zoom によるオンライン)開催ということで心配もありましたが、大成功を収めました。参加者 60 名以上で、発表者 28 名、発表資料 31 本に上り、参加者・発表者・資料の多さと多彩さは、これまでにない水準になったとみられます。

さて、2021 文化政策セミナー(9/18-19)が 2 か月後に予定されています。前回同様、(Zoom による)オンライン開催となります。

2 日間にわたるプログラムの作成はこれからですが、次のような柱を立てています。

まず統一テーマは、下記を軸にイメージしています。

「地域に根差した研究・教育と学会の活用 一京都・岩手などでの試みと新たな構想」

プログラムは、午前と午後に分けて、4 つのコーナーで構成します。

9 月 18 日(土):[午前(10:00~12:00)]研究発表会(3-4 本、司会:池田)、

[午後(13:30~17:00)]働学研(博論・本づくり)研究会(6-7 本、司会:十名)。

9 月 19 日(日):[午前(10:00~12:00)]文化資本研究会(3-4 本、司会:岩田)、

[午後(13:30~17:00)]統一テーマによる地域間交流(6-7 本、司会:金井・富澤)。

総合司会:中谷・十名、補佐:白石。

発表は、4 つのコーナーのいずれかにおいて可能です。発表申し込み(テーマ、コーナー)は、8 月 12 日(木)までに実行委員会までお知らせください(仮題でも構いません)。

発表資料は、9 月 5 日(日)までに実行委員会までお送りください。

文化政策セミナーのプログラムや運営は、実行委員会(中谷、金井、池田、岩田、白石、倉橋、富澤、十名)にて進めますので、よろしくお願いします。

プログラムや参加申し込み表は、学会のホームページにアップし、それぞれ URL をクリックすると閲覧できるようにしておきます。

また発表資料は、開催前後の 1 週間(9/14-20)、会員が閲覧できるようにします。

#### ④ 学会員関係の研究業績交流

学会員による研究成果の最近の出版、公刊を紹介します。ご業績を学会までお知らせいただければ幸いです。

- ・井口貢 『深掘り観光のススメ:読書と旅のはざままで』 ナカニシヤ出版、2021年4月5日
- ・金井萬造 「観光論とフードツーリズム」松原豊彦編著『6次産業化研究入門:食と農に架ける橋』高管出版、2021年5月21日、2750、2部3章、分担執筆
- ・日本科学者会議 『日本の科学者』本の泉社、2021年6月号  
特集:人権としての特別支援教育  
まえがき:藤本文朗  
言葉の玉手箱:近藤真理子  
大学における「特別支援教育」の意義と展望——インクルーシブな学びの可能性:近藤真理子  
ベトナムの特別支援教育と教員養成の歴史と現状——日本との交流を通して:竹澤大史、藤本文朗
- ・近藤真理子 「非対面講義における教員養成系講義のとらえ」『日本の科学者』2021年8月号
- ・十名直喜 「「三密」の伝統と新たな創造:コロナ禍を生き抜く生活・仕事・研究の交流と智慧」基礎経済科学研究所『経済科学通信』153、2021年7月15日  
\* 同上書には、書評、小山大介「富澤公子『長生きがしあわせな島<奄美>』が所収されています。
- ・池上惇 『学習社会の創造』(京都大学出版会、2020年10月)の書評が出ています  
・佐藤一子 『月刊社会教育』2021年6月号  
・白石智宙 『財政と公共政策』69、2021年5月  
・十名直喜 『季刊 経済理論』第58巻第2号、2021年7月
- \* 池上惇先生の時評が継続掲載されています。(アクセスについては事務局まで)
- \* 文化政策・まちづくり大学>(HPトップ頁右下)学術データベース(学生専用)  
ふるさと創生総合学術データベース  
コロナ禍における ESG 投資は過疎地域へと向かうかー日本における開拓者精神の継承と発展 :時評欄(61)  
2021/06/02  
遠野ゆかりの産業と企業 総合学術データベース:時評欄(60) 2021/05/27  
渋沢栄一『論語と算盤』をめぐる 総合学術データベース:時評欄(59) 2021/05/25  
コロナ・ワクチン開発において日本学術界が先駆者となれなかった理由 総合学術データベース:時評欄(58)  
2021/04/22  
レジリエンスの時代ーラスキンの共生思想から学ぶ 総合学術データベース:時評欄(57) 2021/04/22  
レジリエンスの時代ーラスキンの共生思想 総合学術データベース:時評欄(56) 2021/04/09

#### ⑤ 『国際文化政策』次号、第13号、2022年2月予定、について

次号(13号)につきましては、4月に募集を終わり、ほぼ原稿が集まっております。年度内発行を目指し、準備を進めて参ります。次々号は年末を締切りしております。ふるってご投稿下さい。

なお、投稿者が増え、頁数も増加傾向にあり、編集体制の強化も重要になってきています。査読体制も充実させ、多くの方に参加、協力をいただき、執筆者との応答も促進できればと考えています。学会体制とともに、制度的にさらに確立させたいものです。

なお、市民大学院関係の講義・研究会については、<https://www.shimindaigakuin.site/> に、掲載されています。

発信元 国際文化政策研究教育学会 E-mail office@icp-education.org  
600-8433 京都市下京区高辻室町西入る繁盛町290番地 旧成徳中学校2階  
電話 075-354-9510. ファックス 075-354-9520

HP <https://www.icp-education.org/>